



ねがいとどく南区へ

皆さんの声をしっかり受け止め、
住み続けられる京都市政について訴えました。

市バス地下鉄値上げ回避へ

南区は公共交通不便地域が大変多く、住民の要求も「一日数本しかない路線をせめて1時間に1本にしてほしい」「バス停が遠くて病院や買い物に行けないので路線を作してほしい」と訴えられます。これでは余計に乗客は増えません。誰もが便利で乗りたくなる路線と本数を確保することで交通局の収入を増やす方向で、市バス地下鉄運賃値上げは回避すべきです。



事業者・農家支援が一步前進

今年度の決算議会で中小企業や観光事業者などの担い手支援対策費、商店街等消費活性化支援事業、伝統産業生産力向上支援事業、農業経営向上支援事業などの増額予算が可決されました。多くの事業者がコロナのあと、さらに物価高騰により疲弊しています。市民の命と暮らしを守るためにも痒い所に手が届く支援が必要です。



水道広域化の検討をやめ、 安全な命の水を守れ



上下水道局本庁が新しくなり1年半が経ちました。京都市の水道水は安心安全の高い水準が保たれています。しかしコロナで温水施設などの休業で収入が激減しました。合理化を謳い広域化で大企業の儲け優先にせず、安くておいしい水を市民に提供するためにも水害や衛生的にも、京都市が責任を持って進めるべきです。

南区に26000食分の 給食工場が!?



塔南高校のグラウンドは東吉祥院公園として、文化市民局所管の運動公園です。市内にグラウンドを増やしてほしいとの声がありますが、学校が移転していいよ市民のグラウンドになったとたん、京都市はいきなりその場所に全国最大規模の給食センターを作ると言い出しました。市内の63校分をここから配送する計画ですが、観光客・雪で交通渋滞が日常の京都市にそぐわない計画です。

